

2021年度ワングル那須朝日岳ハイキング

～紅葉と雲海を満喫～

記録 行田 眞勝

◇期日 2021年10月7日(木) 日帰り

◇天候 晴れ

◇参加者

宮田宏美、木村 秩、小磯義昭、穴倉弘、佐久間 勤、藤野 昇
山下和正、守屋 哲、高橋龍己、虻川敏雄、木村いよ子、佐久間弘子、 16名
大知洋子、倉持良子、宮部きぬ江、行田眞勝
(現地合流：宮田さん、守屋さん)
小磯さん、佐久間さん、高橋さんの車に分乗して出発

◇行程

坂東ヨークタウン5:07～坂東IC～都賀西方PA(6:19)6:31～那須IC7:17～セブン(7:20)7:34～峠の茶屋駐車場8:05
峠の茶屋8:23～四阿(8:26)8:40～峰の茶屋避難小屋(9:55)10:08～朝日の肩1840m(11:06)11:20～
朝日岳1896m(11:30)11:35～朝日の肩(11:44)12:08～峰の茶屋避難小屋(12:53)13:01～
峠の茶屋駐車場(13:55) **行程時間 5時間15分**
峠の茶屋跡14:17～道の駅那須高原友愛の森(14:44)15:12～道の駅やいた(16:00)16:18～
坂東ヨークタウン18:57(小磯車)、佐久間車、高橋車は20分程前に到着

◇記録

10月7日、ワングル山行那須朝日岳ハイキングが実施されました。コロナ禍ではありますが、緊急事態宣言が解除されての実施です。尚、那須岳は2017年10月(当時は茶臼岳がメイン)以来です。参加者全員心待ちにしていたと思います。前回の那須岳では紅葉のシーズン那須岳の駐車場は混雑していたので、1時間早めでの集合になりました。
坂東からは14名、現地で宮田さん・守屋さんが合流の計16名が参加しました。坂東ヨークタウンからは小磯さん・佐久間さん・高橋さんに車を出していただき、5時7分まだ薄暗いなか出発しました。
坂東ICから圏央道に入り東北道都賀西方PAで待ち合わせ各車別行動とした。都賀西方PAには6時19分に到着、ここで朝食や行動食を調達したかった人もいましたが、売店の営業は7時30分からでした。残念でした。
気を取り直し、那須ICを降りてからのコンビニに寄ることになりました。都賀西方PAを6時31分に出発、那須ICに向かって進みました。
前回の八方ヶ原では、高速出口付近で知人が2500万円のGTSを購入した話で動揺し、思わず通過してしまったハプニングがありました。今回は出口付近で禁句としたので無事に那須ICを7時17分降りることができてホッとします。高速を降りて7時20分、最初のセブンイレブンを見つけ立ち寄り。那須町は「屋外広告法による那須町屋外広告物規制」で表示は地が茶色の白文字に統一され若干見つけにくい。ここで各自不足している食料を買い出しする。
高速を降りた辺りから霧雨が降っていて山の天気は気になる。しかし峠の茶屋に近づくにつれて青空が見え始めた。茶臼岳ロープウェイ駐車場から、更に先へ進むと峠の茶屋駐車場に8時5分到着した。駐車場は思った程混雑していなかった。宮田さんと守屋さんが駐車場で待っていてくれた。宮田さんは前日にここへ来て一晩車中泊したとのこと。さすがです。
駐車場からは山の紅葉と青空で気分が良い。各自出発準備をしていると、「那須岳登山者動態調査」をしており、全員にビーコンを渡されて身につける。
8時23分歩き始めてすぐ、四阿(7:26)に8時26分着き、ここで腹ごしらえをした。8時40分、いよいよ登山開始したが虻川さんのみ別行動になり、15名で朝日岳まで向かうことになった。最初の目的地峰の茶屋までは歩きやすい道が続く。いつものようにペースメイクの上手い山下さんが先頭を歩いていく。歩きながら右側を見ると朝日岳方面の山肌が紅葉していてとても綺麗な。後ろを振り返ると遠く見事な雲海が見える。どうやら那須ICからの霧雨はこの雲海の中を走行していたようだ。左側をみると茶臼岳の山肌も見える。先を見ると峰の茶屋避難小屋の赤い屋根が見える。360度とても気分が良い。しかしアクシデント発生、木村さんの登山靴の靴底が剥がれたとのことだ。コロナ禍で山に行く機会が減ると、保管中に接着剤が劣化しているのが気づかなくて、いざ使った時に靴底が剥がれてしまうことは多い。峰の茶屋避難小屋へは9時55分に到着して小休止となった。ここで登山靴の応急処置をしたが、佐久間さんが結束バンドを持っていて処置した。佐久間さんも奥さんが同じ経験をしたらしく、もしもの時のために持ち歩いているようだ。
山行の時は結束バンド・ガムテープ・針金・予備の靴紐等を念のため持っていきましょう。小休止していると峠の茶屋方面から小学生の賑やかな集団が登ってきたので、集団を避けるため10時8分朝日岳に向かって歩き出す。ここから先、朝日の肩までは岩稜地帯となり、足場の悪い箇所もあり鎖場も所々にある。登山道もトラバース気味に片側が斜面になっている箇所もあった



峠の茶屋駐車場にて



山肌の紅葉が綺麗



雲海が見えた

りで慎重に登って行く。足下も滑りやすい土で雨が降っている時は、頂上からの戻りの下りで苦労しそうだ。この登りで木村さんの登山靴では歩きづらそうだ。朝日の肩1840mには11時6分に着いた。峰の茶屋避難小屋は標高1720mなので120m登ってきた。残念ながらガスっていて何も見えない。ジッとしていると風が寒い。ここで皆が登ってくるのを待ち、11時20分、木村さん・小磯さんが待機し荷物はデポして頂上迄登って行く。10分程の11時30分今回の目的地である朝日岳頂上1896mに登頂した。しかしガスっていて展望がなく、記念の集団写真を撮り5分程で下る。朝日の肩に戻り、ここで大休止、昼食とした。各自持ってきた食料と、倉持さんが用意してくれたキュウリの漬物・梅干、他の方からもお菓子やつまみ等の差し入れを食べながら休憩した。12時8分、朝日の肩を出発、元の道に戻る。岩稜地帯なので足場に注意しながら下り、峰の茶屋避難小屋に12時53分着く。騒がしいと思ったら須賀川第一小学校5年生の集団がいた。先に峠の茶屋へ下って行くようなのでしばらく待ってから13時1分下り出す。他の若いハイカー達が途中すいすいと抜いて行った。高齢化した我々はそうはいかず気持ちと連動せず膝も上がりにくいのでのんびり下る。しかし山では岩稜地帯では慎重になるが、傾斜の緩い下りは気が緩み、細かい小石に乗って滑り転倒した人もいた。下山まで慎重に…。

峠の茶屋駐車場には13時55分に到着、ここで虻川さんと合流した。虻川さんは一人で峰の茶屋避難小屋まで往復したとのこと。木村さんは応急処置した登山靴で5km以上・5時間歩き通しました。

峠の茶屋で登山者動態調査のピーコンを戻して14時17分出発した。途中、道の駅那須高原友愛の森、道の駅やいたに寄って帰路につく。途中小磯車は坂東市内で寄り道して坂東ヨークタウンに18時57分到着、他の2台は20分前に到着したとのこと。紅葉と雲海、朝日岳の岩稜地帯歩き、その他アクシデントとありましたが良い山行でした。幹事さん、参加者の皆様お疲れ様でした。次回楽しみにしています。



峰の茶屋避難小屋



靴の応急処置



朝日岳の岩稜



朝日岳の岩稜地帯を歩く



朝日の肩で昼食
茶臼岳がはっきりと



木村さん5時間歩き通す

